

F—1 食料費と栄養成分の関連について

—栄養成分の年次別・五分位別購入価格—

福岡県社会保育短大 ○出石 康子
松田紀美子

1. 食料費に関する研究は多いが、栄養成分と関連させて研究されたものは少なく、カロリーとの関連をとりあげたものを散見するにすぎない。しかし現今では多種の栄養成分を対象とする方法が要求され、この観点から食料費と栄養成分の関連を考える新しい方法を試考した。

2. 国民栄養基準量(昭和 45 年を目途とした)に示される栄養成分をとり、各成分の基準量を等価値として1におき、各成分の約 1/75 を単位量とし、これを1充足力とした。家計調査報告年報より 105 食品を選び各食品 100 g 中に含まれる栄養成分量を充足力数によみかえた。この 100 g の充足力数に、それぞれの食品の年間使用量(100 g 単位)をかけ、全食品の総和を求めて、これと購入金額の総和とを対比して、1充足力の平均価格を算出した。

3. 上記の方法を用いて昭和 39 年より 43 年までの5カ年間の年平均1充足力の購入価格の推移をもとめ、次の結果を得た。

39 年 0.289 ; 40 年 0.337 ; 41 年 0.355 ; 42 年 0.371 ; 43 年 0.391(単位円)

同様に昭和 43 年における年間収入 5 分位階級別の 1 充足力の価格を算出し、各階級間の差の有無を検討した。